大仙市立中仙小学校　学校報

輝く ひとみ

令和２年度 第４７号
令和２年１０月２２日

学校教育目標　　ゆめにむかって えがおいっぱい みんなでチャレンジ

＜かしこくなる秋＞

頭と心、体を使いながら、自分をみがく（５年理科授業研究）

１９日月曜日に、教育事務所の物部長秀指導主事（一昨年度まで、中仙中にいらっしゃいました）をお招きし、５年生の理科の授業研究会を行いました。授業の指導者は、佐々木崇教諭です。（佐々木教諭は理科を専門としています。）

授業の単元は「ものの溶け方」で、「水に溶かして見えなくなった食塩のゆくえはどうなったか。」を学習問題として、予想、実験、考察していく学習です。「溶けて見えなくなる」というところが、この学習のミソです。（好奇心がひかれる場面）

５年生は理科の学習の好きな子どもたちがほとんどで、とても探究的な態度ができていました。頭で考え、仲間と心を通わせ、目と耳と鼻と手を使いながら、思考を巡らせていました。問題の解決に向けてとことんがんばれる子どもたちだと思ったところです。この秋にどんどんかしこくなってほしいです。

防火扉の歩行体験

２０日、火災を想定した避難訓練を行いましたが、それに先立ち、校内に５か所ある防火扉の歩行体験も行いました。普段の廊下とは景色が違う様子に、少し緊張しながら、恐る恐る扉の段差をまたいで歩く子どもたちでした。（写真は１年生）

冷え込みが強くなってきて

ほんの一か月前は、半そで姿で過ごしていたとは思えないほど、朝夕の冷え込みが強くなってきました。その年によっては、１１月頭には初雪が見られることもあることから、寒さは順調に訪れているようです。そのためか、登校時にはポケットに手を突っ込んで歩いている子がちらほら見られます。そろそろ、手袋の時季かもしれません。また、車での送迎の多いお子さんは、薄着の場合が見られます。老婆心ながら、風邪など引かぬようご留意ください。

＜学校のお仕事＞

３番目の登場は「事務職員」

本校の事務職員は、武藤和磨主任です。小、中、高のいずれでも経験のある、大曲仙北きってのやり手事務で、今年赴任しました。

事務職員は、主事からスタートして、主任、主査、主任主査、事務長（管理職）と職名が変わります。一般的には、給与の管理、財務の管理（学校予算）、服務（職員の出勤簿）の管理、施設の管理、備品の管理が主な業務です。しかし、武藤主任は、このほかにも多くの業務に関わり、本校職員の支援をしてくれています。仕事の早さも天下一品です。また、児童の清掃活動の指導もしています。他の学校の事務職員の方々から業務の相談や問い合わせの電話がよくあり、ていねいに教えている様子も見られます。他の学校からうらやましがられるスーパー事務職員です。（感謝、感謝）

６年　熊　谷　柊　哉　さん（書道）

書友審査委員会　　１０段